

子宮頸がん検診

20歳を過ぎたら、1~2年毎の検査をお勧めします。

子宮頸がん検診

診察と子宮頸部の細胞診検査を行います。細胞診検査では子宮頸部を専用ブラシでこすって細胞を取り、異常な細胞を見つけます。(検診結果が要精密検査の場合は婦人科を受診しましょう)

HPV(ヒトパピローマウイルス)検査を同時にされると効果的です。細胞診検査で採取した細胞で検査をします。

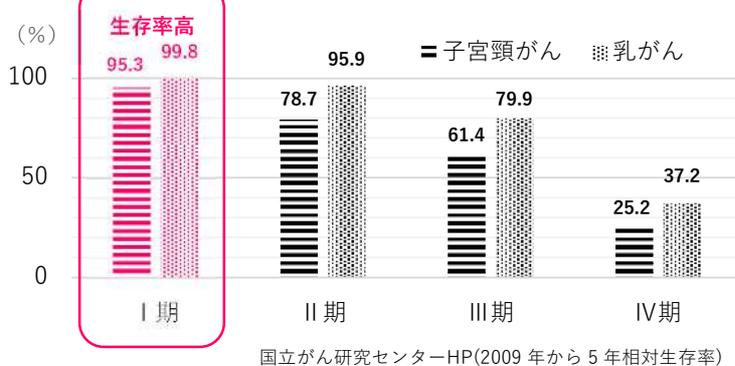
Q. 子宮頸がんって？

A. 子宮の入り口にできるがんです。

性交渉によるHPV(ヒトパピローマウイルス)への感染が主な原因です。ほとんどは自然に消滅しますが、ごく一部で感染が持続し、前がん病変(異形成)細胞を経てがんになります。



がんステージ別5年生存率



婦人科経膣エコー検査

膣内にプローブ(超音波を出す器具)を挿入します。子宮や卵巣の様子、大きさなどが詳しく確認できます。

CA125検査

卵巣がんが発見されやすい40歳以上の方におすすめです。当日採取した血液で検査できます。(追加採血はありません)ホルモンの影響で高値となるため、妊娠中や月経中は避けてください。

Q. 検査での痛みはありますか？

A. ほとんどありません。

ただし、挿入時に違和感があるかもしれません。検査は短時間で終了します。

検査料金 子宮頸がん検診

(税込)

子宮頸がん検診+婦人科経膣エコー検査

3,960 円

7,370 円

子宮頸がん検診+婦人科経膣エコー検査+CA125検査

8,250 円

子宮頸がん検診+HPV検査

9,680 円